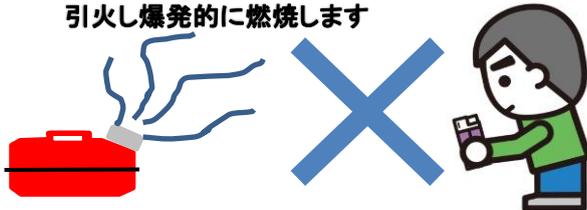


# ガソリン携行缶

## 正しい知識で正しく使う

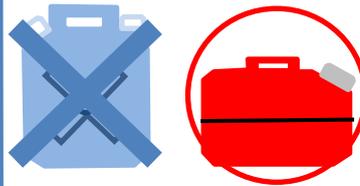
### ①危険性について

ガソリンは気温が $-40^{\circ}\text{C}$ でも気化する揮発性の高い液体なので小さな火源でも、離れていても引火し爆発的に燃焼します



### ②容器について

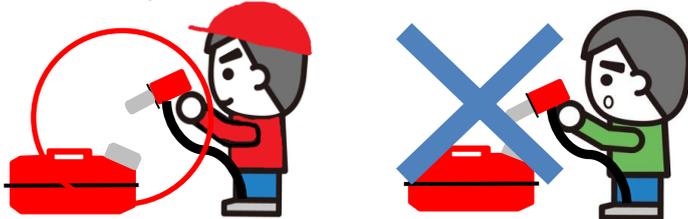
灯油用ポリエチレン缶にガソリンを入れることは非常に危険です



ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています

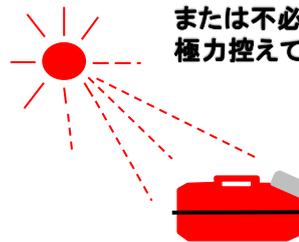
### ③購入について

セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません



### ④保管について

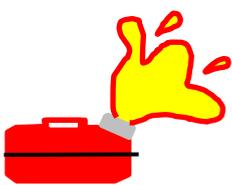
ガソリンを容器に入れて、長期間、または不必要に保管することは極力控えてください



ガソリンは、揮発性が極めて高く火災が発生すると爆発的に燃焼するので注意し、直射日光や高温になる場所で保管しないでください

### ⑤噴出事故防止について

ガソリン噴出は重大な事故につながるので取扱いには十分注意してください



**！噴出注意！**

- ★周囲の安全を確認
- ★フタを開ける前に
  - ①エンジン停止
  - ②エア抜きをする
- ★高温の場所禁止

### ⑥取扱いについて

使用時には取扱説明書をよく読み、適正な取扱いをしてください



パッキンの劣化、キャップの締めつけ不足等注入口からの漏れによる危険物漏えい事故が多数報告されています

